

令和6年度 第3回教科用図書葛南西部採択地区協議会 会議録

1 期 日 令和6年7月18日(木)
開会 午後 1時00分
閉会 午後 5時40分
会場 浦安市文化会館 大会議室

2 出席者
委 員 12名
事務局 3名
市教委担当 3名

3 会議録

(1) 開会の言葉
事務局

(2) 令和6年度教科用図書葛南西部採択地区協議会会長挨拶

(3) 令和7年度使用中学校用教科用図書(国語・書写・数学・理科)に関する研究調査報告について

国語に関する研究調査報告について

①研究調査委員長より報告

②質疑応答

〈委員〉

古典については、4社で扱い方に違いがあるか。

〈研究調査委員〉

古典に関しては4社とも視覚に訴えるようになっている。歴史的仮名遣いについても分かりやすく表記されている。

〈委員〉

国語が苦手な生徒も聞くことをとおして理解が可能になる部分があると思うが、音声が録音されているのか否か。

〈研究調査委員〉

各社、QRコンテンツに関しては扱いが異なる。朗読などをつけているのが三省堂である。古典に関しても、三省堂は朗読用のQRコードを付けている。

〈委員〉

情報活用能力を養うことができる教材や題材はどうか。

〈研究調査委員〉

国語は現行の学習指導要領に情報の取り扱いが挙げられている。言葉の原因と結果ということが新設されているが、それを意識しているのが教育出版である。SDGsなどの様々な題材を多く扱っている。言葉と情報というコーナーがあり、情報について学べる。

〈委員〉

教育出版の読書活動について、どのような点が充実しているのか。
〈研究調査委員〉

教科書の題材に関連した本について紹介されているのが特徴である。
〈委員〉

光村図書の古典の扱いは上段と下段に分かれていて読みやすい。他の教科書会社の見やすさはどうか。また、教育出版の「学び方ナビ」はどうか。
〈研究調査委員〉

学び方ナビは使いやすくなった。現行では、ある種答えが書いてあり、授業で使いにくさがあったが改善されている。
〈研究調査委員〉

見やすさについては、各社ともによくできていた。読みやすさの視点では、行間の空きが大切だと思うが、その点では教育出版が十分な行間があった。
〈委員〉

本の紹介について、各社の差はあるのか。
〈研究調査委員〉

特に差はない。

書写に関する研究調査報告について

①研究調査委員長より報告

②質疑応答

〈委員〉

筆遣いなども重要だが、運筆の違いについてはどうか。

〈研究調査委員〉

どの教科書も動画で見ることができる。東京書籍については、行書の動きのパターンを意識できるような音声がついている。教育出版はあまり記載がない。光村図書に関しては示されている。

〈委員〉

どこにお手本があると教員としては教えやすいのか。左利きの生徒への対応はどうか。

〈研究調査委員〉

お手本の場所は、右でも左でも大きく違いはない。左利きの生徒については、光村図書と東京書籍は説明がある。動画についてはどの出版社も用意されている。

〈委員〉

光村図書だけ硬筆が別冊であるが、指導する立場としてはどうか。

〈研究調査委員〉

先生方は別冊がよいのではないかと思う。

〈委員〉

光村図書は入学願書の書き方などがある、他はどうか。

〈研究調査委員〉

他も充実している。

数学に関する研究調査報告について

①研究調査委員長より報告

②質疑応答

〈委員〉

数学は特に学力差が大きい教科と考える。どの生徒も幅広くカバーできる工夫についてはどのようなになっているか。

〈研究調査委員〉

どの会社も QR コンテンツが充実しており、個別に学べるようになってる。

〈委員〉

教科書会社によって QR コンテンツに差はあるか。

〈研究調査委員〉

どの会社も力を入れているが、東京書籍が1500以上、啓林館も次いで充実している。各社充実しているものの、実際につないでみるとまだ工事中の教科書会社もあった。東京書籍は細かく各ページに QR コードがついている。啓林館はどのようなコンテンツかというリンク先が書いてある。家庭学習の際には他社よりも使いやすいかもかもしれない。

〈委員〉

教育出版は問題がまとまっている。見やすさについてはいかがか。

〈研究調査委員〉

見やすさという点では一か所にまとまっているものがよい。学校図書と啓林館は、書き込めるようにしている。

〈委員〉

内容の配列についてはどうか。

〈研究調査委員〉

啓林館と学校図書が同じ配列になっている。子供の思考では啓林館が使いやすいだろう。

理科に関する研究調査報告について

①研究調査委員長より報告

②質疑応答

〈委員〉

理科に関しては、表紙の名称がばらばらになっているが、各社の意図があるのか。

〈研究調査委員〉

特に意図は感じられない。

〈委員〉

大日本図書は QR の進展が遅れているが教科書のつくりは良い。QR コンテンツがなくても大日本図書は選択の一つに入るのだろうか。

〈研究調査委員〉

バランスはよく取れている教科書だと感じた。

〈委員〉

理科において何を大事にするかによるが、子供の好奇心をくすぐるという

観点はとても大切であるが、その点はいかがか。

〈研究調査委員〉

大日本図書は自由度が高いが、どれも一長一短ある。

〈委員〉

他の会社はどうなのか

〈研究調査委員〉

東京書籍だと地学の内容について書かれている。調べたい内容が明確になっている。

〈委員〉

教科書の大きさについてはどうなのか。

〈研究調査委員〉

教科書の大きさ、見やすさについては個人差もあるだろう。教科書の大きさとしては現行の教科書がマッチしていた。理科の特性上、大きい教科書は作業スペースが狭くなってしまう。

〈委員〉

大日本図書の場合、改訂がなくさらに4年間同じになるがどうか。

〈研究調査委員〉

大日本にもQRコードがついており、QRコードは更新されていくと聞いている。授業するにあたってはそれほど変わらない。

〈委員〉

チャットボット機能についてはどうか。

〈研究調査委員〉

授業内ではチャットボットを活用するのが時間的に難しい。

(4) 令和7年度使用中学校用教科用図書(国語・書写・数学・理科)に関する協議・選定

①(4)について各市協議

〈浦安市〉

国語について

委員：県の施策である読書活動の充実についてはどうか。

委員：東京書籍と三省堂がよいか。

委員：最近、朝読書の時間を減らしつつある点を踏まえると三省堂がよい。音声データがあるのもよい。

委員：三省堂は参考書という印象がある。

委員：光村図書の語彙ブックがよいのではないか。

委員：光村図書を過去に使っていたこともあった。

委員：これまで教えていた教材が先生方の標準になっているのかもしれない。

委員：行数、見やすさでは教育出版か。

委員：行間よりも文字の大きさではないか。

委員：教育出版は行数を書いてほしかった。

委員：国語でどんな力を育てたいかが大事だろう。

委員：注釈が丁寧という面からも光村図書でよろしいか。

委員：教育出版でもよい部分もある。
全委員：光村図書とする。

書写について

委員：光村図書は動画があるので分かりやすい。
委員：原寸大の文字の大きさが記載されているものがある。
委員：様々な角度で撮影されているものもある。
委員：光村図書は動画が充実していて斜めからの角度のものあり分かりやすい
全委員：光村図書とする。

数学について

委員：ゼロ章があるのはどれか。
委員：東京書籍がそのような作りだった。
委員：デジタルコンテンツが充実しているのはどこか。
委員：東京書籍と啓林館が充実しているとのことだった。
委員：デジタルコンテンツが充実していると不登校にも対応できる。
委員：啓林館はコロナの頃からデジタルコンテンツに対応していた。問題の説明は東京書籍が分かりやすいと思う。
委員：数研出版は参考書の出版社というイメージがある。吹き出しが答えに結びつこうとしている印象がある。
委員：因数分解と平方根についてはどのような扱いになっているか。
委員：東京書籍は素因数分解が最初に来ている。さらに小学校の復習がある。
委員：啓林館は学習の中で振り返りがある。平方根を学習してから二次方程式に進むのが思考の流れ的によいと思う。
全委員：啓林館とする。

理科について

委員：各社とも教科書が大きくなってきている。何か理由があるのか。
委員：時代の流れ的には大きな教科書なのかもしれない。写真が大きくてよい。
委員：チャット機能がある教科書もある。
委員：理科に苦手意識をもつ子供には、教育出版がよいのでは。
委員：東京書籍と教育出版は学習の流れが固定化されていると思う。
委員：同じ水溶液の単元で比べるのはどうか。
委員：教育出版か東京書籍がよいのではないか。
委員：教育出版はどうか。
委員：これからは経験の少ない教員も増えるので流れがわかりやすいほうがよい。
全委員：東京書籍とする。

〈市川市〉

国語について

委員：教育出版は、領域ごとに学習内容が示されており、生徒にとって分かりやすい。

委員：教育出版は、読書教材の質や量が充実している。

委員：これまで取り扱われている題材もあり、初若年層にとっても指導がしやすい。

委員：関連図書が豊富で、市川市ではたくさんの関連図書が図書室等に準備されており、子どもたちにとって読むことが深まることにつながるのではないか。

全委員：国語は教育出版を選定する。

書写について

委員：教育出版が AB 版。デジタルコンテンツには手本動画がある。

委員：手本が使い勝手がよい。半分に折って使うのは、あまり使い勝手がよくない。見開きのほうが良い。

委員：東京書籍は、使い勝手があまりよくない。硬筆の書く量が少ない。

委員：光村図書出版はお手本が半紙の原寸大でとても良い。

委員：左利きの生徒にも対応している。

委員：別冊があるのがよい。

委員：硬筆は別冊なので、とても扱いやすい。

委員：扱っている題材の中で、今の生徒が興味を持ちやすい書体を扱っている。

全委員：書写は光村図書出版を選定する。

数学について

委員：どの会社もコンテンツ内容は少し異なるが充実している。

委員：学力差が出やすい数学は、より分かりやすさが重要となる。啓林館か東京書籍が分かりやすいと思われる。

委員：啓林館は、子供の思考を引き出すような学習の流れになっている。

委員：現場の先生は啓林館が使いやすいと報告があった。

全委員：数学は啓林館を選定する。

理科について

委員：東京書籍は情報量が多いが、教科書の内容やレイアウトなど見やすかった。

委員：大きさについて従来のものから大きくなっている会社が多い。実験の時に邪魔になったりしないか。

委員：どの会社も大きさはリニューアルしているので、大きさにこだわる必要はない。

委員：東京書籍は、2年生の題材における、白い粉末の見分け方の学習では、物質を X と標記して、生徒に考えさせるよう促している。また、探究的な学習の流れになっている。

委員：東京書籍は、若い教員にとっては授業がやりやすいのではないか。

委員：情報量が多いのは気になるが、生徒に考えさせる場面があるのはよい。

委員：学習の流れは、丁寧な作りではある。若い先生でも扱いやすい。

委員：学校図書は内容が細かくてレベルが高い。難しいのではないかと考える。

委員：教育出版は探究の進め方のガイドが折込みページで分かりやすいが、そ

れ以外は大きな差はない。

委員：教育出版は、具体的で丁寧な記述がある一方、自由な発想が育ちづらいのではないか。

全委員：理科は東京書籍を選定する。

②（４）について各市報告

〈市川市報告〉

委員：国語は、教育出版を選定する。

領域ごとに学習内容が示され系統性があるので生徒にとって分かりやすく、先生方にとって指導しやすい部分がある。幅広い内容の情報を扱っており、情報活用能力を育成するには優れている。読書教材の観点からもよい。

書写は、光村図書出版を選定する。

B5 変型判で毛筆を扱う際にお手本が見やすく、安定した形で学べる。書写ブックの別冊があるので教員にとって指導しやすく、生徒は毛筆と硬筆とを関連付けて学ぶことができる。

数学は、啓林館を選定する。

数学的な活動を通して主体的に取り組めるよう導入課題を設定しているため、生徒の多様な思考・考えを引き出すことが可能である。QRコードの豊富さとその一つ一つにタイトルがある点がよい。

理科は、東京書籍を選定する。

学習内容について見開き 2 ページにまとめており、見やすく主体的な学び、探究的な学びにつながる構成になっている。写真資料が豊富で視覚的にわかりやすいレイアウトになっている。

〈浦安市報告〉

委員：国語は、光村図書出版を選定する。

言葉や語彙についてのこだわりがあり、注釈も詳しく書かれている。特に、語彙ブックで語彙を豊かにする工夫がされている。また、読書についてのコーナーがあり、様々な本に親しめる点もよいと感じた。

書写は、光村図書出版を選定する。

原寸大のお手本が用意されており、文字の大きさやバランスを意識しながら学べる点がよい。デジタルコンテンツも充実しており、斜めからの動画があるのでわかりやすい。別冊の書写ブックは、日常の硬筆でも生かされると感じた。

数学は、啓林館を選定する。

単元構成が生徒の思考の流れに沿っているため、主体的な学びにつながるものである。デジタルコンテンツも充実しており、個の習熟に応

じた学びを展開できる点もよい。

理科は、東京書籍を選定する。

写真資料が大きく見やすく掲載されており、生徒の興味・関心につながる。探求のステップをアイコンで示し、フローチャートで流れが確認できるので、生徒は学習の見通しを持ちやすく、指導面では経験の浅い先生でも使いやすくだらう。

③協議会としての選定

二市の報告が一致したので、葛南西部採択地区協議会は、
書写は、光村図書、数学は、啓林館、理科は、東京書籍 を選定する。
国語は、二市二様のため協議となる。

(5) 令和7年度使用中学校用教科用図書（技術・家庭・英語・道徳）に関する研究調査報告について

技術に関する研究調査報告について

①研究調査委員長より報告

②質疑応答

〈委員〉

プログラミング教育について注目を受けているが、技術ではどう扱われているのか。

〈研究調査委員〉

計測制御・双方向の通信について学ぶようになっている。各教科書とも、プログラミングの画面が出ている。東京書籍については巻末にもスクラッチ、Java スクリプトなどについて書かれている。

〈委員〉

技能面についてはどうか。教育図書の別冊のスキルアシストについてはどうか。

〈研究調査委員〉

別冊があることで生徒は作業する際に見やすい部分がある。一方で教師にとっては、生徒がなくしてしまうのではないかという点が不安である。内容については別冊がなくても教科書本文で同程度確保されていることを補足する。

〈委員〉

プログラミング教育も含めて情報教育に力を注ぐ必要があるが、3社の違いはあるか。

〈研究調査委員〉

計測制御、コーディングは中学校段階では難しい面はある。何のソフトが紹介されているかという違いがある。市のパソコン環境などによって扱いやすさは違う可能性がある。実際の授業では、教科書に掲載されているソフトをそのまま活用するだけではない。工作物にあった言語を活用することが多いので、それほど気にしなくてもよいと思う。

家庭に関する研究調査報告について

①研究調査委員長より報告

②質疑応答

〈委員〉

ウェブコンテンツの特徴について教えてほしい。

〈研究調査委員〉

どの会社もオリジナルコンテンツやリンク集などを掲載している。大きな違いは感じられなかった。

〈委員〉

日常生活と家庭科は関連が深いですが、それぞれの教科書の特徴を教えてください。

〈研究調査委員〉

ここが異なるという点よりも、東京書籍は3つのステップという学習の流れがしっかりとしている。開隆堂は、学習課題が投げかけられ、発展的な内容が含まれている。

〈委員〉

性差なく家庭科に取り組む観点が大切だが、人権意識についてはどうか。キャラクターなどの多様性について配慮されているか。

〈研究調査委員〉

表紙を見てほしいが、東京書籍は性別が分かりにくいようになっている。開隆堂は様々な人種の方を裏表紙に載せるなど、意識されていると感じた。

〈委員〉

SDG s に関する記載はどうか。

〈研究調査委員〉

開隆堂がもっとも特徴的に扱っている。

〈委員〉

金融教育についてはどうか。

〈研究調査委員〉

コンテンツはどれもよく準備されていると感じる。教育図書は色々な決済方法について載せてある。他の会社よりも種類が多いと感じた。

外国語に関する研究調査報告について

①研究調査委員長より報告

②質疑応答

〈委員〉

外国語はデジタル教科書もあるがどうか。

〈研究調査委員〉

デジタル教科書については各社とも力を入れてきていて、活用も増えてきている。

〈委員〉

小学校での単語の習得に関連して、教科書会社が異なっても小中学校の接続はできるのか。

〈研究調査委員〉

大きな問題はないが、扱いやすい方がよい。ただ、どの教科書も語彙については小中の接続を意識し、努力していると感じる。

〈委員〉

バックワードデザインについてはいかがか。

〈研究調査委員〉

東京書籍は身近なゴールとして、単元で何を学ぶかを明確にしている点が他と異なる。スモールステップがきちんと組まれていて、扱いやすさはある。

〈委員〉

外国語の教科書の大きさが異なることに気づいた。大きさについてはどうか。

〈研究調査委員〉

小学校と合わせて大きさが変わってきている。内容についてはどの会社も小中連携が意識されており甲乙つけがたい。

道徳に関する研究調査報告について

①研究調査委員長より報告

②質疑応答

〈委員〉

道徳的価値が明記されているものとないものがあるが、違いはあるか。

〈研究調査委員〉

明記されていたほうが授業をしやすいといった面はある。しかしながら授業の流れが決まり切ってしまう、予定調和になってしまうこともあるだろう。光村図書、日本文教出版、東京書籍はテーマが書いてある。教育出版は問い、学研はキーワード、あかつき書房と日本教科書は書いていない。

〈委員〉

日本文教出版だけノートがあるがどう考えるか。また、朗読についてはどうか。

〈研究調査委員〉

日本文教出版のノートは、自由記述になっている。教師としては毎時間ワークシート等を用意しているのでその作業が省けるのはよいと言える。また、すべての教材に朗読がついている教科書会社もあり、東京書籍、日本文教出版がそうである。

〈委員〉

人権意識が大切であり、多様性への理解も重要である。日本文教出版だけは表紙において、配慮がないように感じる。配慮がされている教科書はあるか。

〈研究調査委員〉

どの教科書も人権に触れている。特に多様性では光村図書が人権教育に力を入れているという感がある。学研もSDGsをユニット化している。「いじめと向き合う」を設定している日本文教出版も力を入れているように感じた。

〈委員〉

道徳が教科化されて随分経過するが、現場での実態はどうか。

〈研究調査委員〉

現場では道徳の授業実践が積み重ねられてきた。実践においては、教材文が授業で取り扱いやすいことが重要であろう。教材文が長すぎると読み取りに時間がかかってしまうこともある。

(6) 令和7年度使用中学校教科書（技術・家庭・英語・道徳）に関する協議・選定

① (6) について各市協議

〈浦安市〉

技術について

委員：プログラミング教育は東京書籍が詳しく書かれていた。

委員：浦安市としてはスクラッチを扱っている教科書がよいだろう。現在も使っている。

委員：東京書籍はQRコードも充実していた。

全委員：技術は東京書籍とする。

家庭について

委員：技術と家庭科は同じ方がよいか。

委員：調理実習に関するページはどのように扱われているか。会社によっては食材が実物大で見やすくなっている。グラムで表示するより分かりやすい配慮ではある。

委員：調理実習で扱っている料理はどうか。

委員：料理本のように鮮やかな色合いの写真を掲載しているものもある。

委員：金融教育について、キャッシュレス決済はどの教科書でも触れていた。

委員：東京書籍は先生方が使いやすいように感じた。

全委員：家庭は東京書籍を選定する。

外国語について

委員：教科書サイズはどうか。持ち帰りを考えると大きすぎたり重すぎたりするのはどうかと思う。

委員：大きな差はないように感じる。

委員：東京書籍はQRコンテンツが強いという印象を受けた。

委員：三省堂は発音チェックができる機能がついていた。AIチェック。

委員：これからの学習では、発音練習は大切だろう。

委員：AI解析、発音練習、個別に学習できる教科書がよいのではないか。

全委員：外国語は三省堂を選定する。

道徳について

委員：今はどの教科書会社か。

事務局：学研である。

委員：教材の文章の長さについてはどうだろうか。

委員：文章がほどよい長さのものがよいだろう。

委員：研究委員は日本文教出版の教材文の長さが適切だと言っていた。

委員：道徳ノートについてはどうか。日本文教出版の道徳ノートは自由記述であり、使いやすいのではないか。

委員：いじめについてはダイレクトな記述で良いと感じる。日本文教出版はいじめの取り扱いや他教科との関連、文章の長さがいずれも適切だろう。

全委員：道徳は日本文教出版とする。

〈市川市〉

技術について

委員：技術及び家庭はセットでそろえたほうがよいか。

委員：他市は、開隆堂が多い。

委員：技術と家庭は出版社が一緒である必要はない。

委員：技術は、教育図書はスキルアシストという別冊がついている。

委員：別冊のスキルアシストは卒業しても使えるぐらい内容が充実している。

委員：別冊には、道具の使い方が詳しく載っている。

委員：技術の別冊は、技術室で作業するとき、これだけ持っていけば作業ができる。

委員：東京書籍は、QRコードが全ページにあって充実している。

委員：若い先生が授業をやりやすいのは、東京書籍ではないか。

委員：東京書籍は、別冊ではないがテックラボのコーナーでまとめて詳しく載せている。

委員：開隆堂は、実習手順が細かく区切られているが、分量が少なく、イラストや写真があまりない。

全委員：技術は東京書籍を選定する。

家庭について

委員：家庭科の開隆堂の表紙は多様性を重視したイラストになっている。

委員：東京書籍は、内容が細かい。開隆堂は、分量が少なく見やすい。

委員：教育図書は、消費生活の分野では、キャッシュレスの題材をたくさん扱っている。

委員：東京書籍は、調理の手順を左から右に展開しており見やすい。見開きになり、上から下に展開するよりも見やすい。

委員：細かい学習の流れになっていて、指導しやすい。

全委員：家庭は東京書籍を選定する。

外国語について

委員：現行の教科書で、不都合はあるか。

委員：現場の声としてはあまり聞かない。

委員：三省堂の内容はレベルが高い。

委員：出版社が変わると、学習している語彙が異なる。例えば、三省堂の1年生の時に習った単語を指導者が理解していないと不都合なこともある。

委員：小学校との連続性の視点で、小学校と同じ教科書だと、生徒も安心して習できるのではないか。

委員：東京書籍は扱いやすい。生徒が慣れている。

全委員：外国語は東京書籍を選定する。

道徳について

委員：主題が分からないほうが、子どもたちの自由な考えを促すことができる
と考える。そうすると、発問にそのような工夫があるのは学研。

委員：教材文には長短の違いがある。

委員：学研は著名な人の人物像について扱っている。その題材の後に、関連し
ている人物の題材について扱っており、関連性がある。

委員：主題設定に工夫がなされていることで生徒の興味関心を掻き立てる。

委員：それが一番の決め手になる。

全委員：道徳は学研を選定する。

②（６）について各市報告

〈市川市報告〉

技術は、東京書籍を選定する。

学習の流れが見えるよう工夫され、主体的に学びに向かう課題の設定や深い学
びを促す活動が設定されている。また、QRコードが充実しており、個々の理解
度や進度に合わせて学習活動が行えるように配慮されている。

家庭は、東京書籍を選定する。

目標・学習課題・まとめようの3つのステップから構成されており、生徒にと
って理解しやすいつくりになっている。特に、調理実習に関しては見開き2ペ
ージで作業工程を分かりやすく明示している。QRコードのコンテンツも充実し
ている。

外国語は、東京書籍を選定する。

学びの連続性を考慮し、現在小学校で採用している東京書籍が適している。デ
ジタルコンテンツが豊富に用意されており、個別最適な学びが可能となる点も
評価できる。

道徳は、学研を選定する。

教材の冒頭に道徳的価値が記載されていないため、生徒の発想の広がりが期待
できる。教科書全体を通して、よりよく生きることについて広い視野をもち多
面的・多角的に考え、深かめていけるよう構成されている。

〈浦安市報告〉

技術は、東京書籍を選定する。

教科横断的な視点としてリンクマークを用いて、教科間・学校種間の連携が高
められるように工夫されている。プログラミングについての教材資料も市川・
浦安のICT環境の実態に適しており、扱いやすい。

家庭は、東京書籍を選定する。

学習の流れが分かりやすく表示されており、生徒にとっては学びやすく指導者

にとっても扱いやすい構成である。写真資料が充実している点も評価でき、実習手順を確認するうえで便利である。

外国語は、三省堂を選定する。

デジタルコンテンツの充実が顕著で、発音練習のAI解析があるなど、主体的な学びを促すものであり、これからの時代の学びに適している。また、他教科との関連が豊富に掲載され、グローバルな視点での学びを保障している。

道徳は、日本文教出版を選定する。

いじめ問題や多様性についてユニット化して配列するなど重点的に取り扱っている点が評価できる。また、他教科や他活動と関連させて学ぶ教科横断的な教材が豊富にあり、生徒の思考の幅を広げる構成となっている。

③協議会として、国語、英語と道徳においては、二市二様の報告だったため、二市の代表者による協議を行う。

代表者協議では、二市の選定理由を再度確認した。

国語について

- 1 主体的な学びにつながる内容構成、読書教材の充実という視点で見ると教育出版がよいのではないか。
- 2 情報活用能力の育成、本文の読みやすさについても重視したい。

読書活動の充実につながる豊富な教材が用意されている点、行間が広く誰にとっても読みやすいつくりになっている点を確認し、教育出版を選出する方向でそれぞれの市の協議に持ち帰ることとした。

外国語について

- 1 三省堂も東京書籍も小中の接続について意識されているのであれば、教科書を変える必要もないのではないか。
- 2 個別最適な学びを意識し、デジタルコンテンツの充実に目を向ける必要があるのではないか。特に、発音練習ができる点は重視すべきではないか。

多様な題材で学習を進めていけること、現行でも使用していることで教員や子供たちにとって違和感がないこと、デジタルコンテンツの有効性について改めて確認し、三省堂と東京書籍についてそれぞれの市の協議に持ち帰ることとした。

道徳について

- 1 授業時間との兼ね合いから、教材文がある程度コンパクトに書かれているものがよいのではないか。
- 2 道徳ノートについて、教材研究や資料準備の点から、現場では有効に活用できるのではないか。
- 3 重点的に扱っている教材に注目したい。いじめ問題など、重要なテーマを

しっかり扱う教科書がよいのではないか。

- 4 教材文のはじめに内容項目を提示してしまうと、生徒の思考の幅が狭められ、予定調和の考えになってしまうのではないか。

実際の授業を想定し、教材文の長さや道徳ノートの活用について考える必要があると思う。また、題材についても改めて考える必要がある。いじめの問題など、重要なテーマの扱い方について検討し、学研と日本文教出版についてそれぞれの市の協議に持ち帰ることとした。

④③について各市協議

〈市川市〉

国語について

委員：読書活動の充実につながる点、本文の読みやすさについて確認し、教育出版が適しているとの話し合いになった。教育出版でよろしいか。

全委員：教育出版を選定する。

外国語について

委員：外国語について、小中の学びの連続性が大切であるということは市川も浦安も同様の認識であった。話すこと、聞くことの学習において、デジタルコンテンツの重要度は増してくると思われる。発音練習のAI解析があるなど、三省堂の充実ぶりが顕著である。三省堂でよろしいか。

全委員：三省堂を選定する。

道徳について

委員：浦安市からは教材文の長さが適切である点、いじめの扱いを重視している点、道徳ノートがついているという3点が日本文教出版のよさであるという話があった。タイトルに内容項目が書いてあると、何を考えればよいか分かってしまい、教師が望むような考えを答えてしまう生徒もいる。生徒の自由な発想のもとで価値葛藤をしてほしいという理由は、大事にしたい。

委員：再度、学研を推して、その後に再検討したい。

全委員：学研を選定する。

〈浦安市〉

国語について

委員：次点として挙げていた教育出版について、読書教材の充実、本文の読みやすさの観点で優れているのではないかという話し合いになった。教育出版でよろしいか。

全委員：教育出版を選定する。

外国語について

委員：生徒が自分の世界を広げ、物事を深く考えることにつながる多様な題材が扱われていること、発音チェック機能をはじめとしたデジタルコンテ

ンツの有効性、これまで使ってきたことによる教員側と子どもたちの使いやすさを考慮して、三省堂でどうか。

全委員：三省堂を選定する。

道徳について

委員：教材文の長さが適度である点、学校現場において道徳ノートを有効に活用できる点、いじめ問題について重点的に資料を掲載している点を考慮し、日本文教出版ではどうか。

全委員：日本文教出版を選定する。

⑤④について各市報告

〈市川市報告〉

委員：国語については、教育出版を選定する。

読書活動の充実が期待できる点を重視するとともに、本文の読みやすさも考慮した結果、教育出版を選定した。

外国語については、三省堂を選定する。

小中の連携を意識すると東京書籍がよいかと考えていたが、小学校で学習してきた単語などは三省堂でも網羅されている。デジタルコンテンツも充実しており、発音チェック機能があるのもよい。引き続き同じ三省堂の教科書を採択することで、教員がより使いやすいことも配慮している。

道徳については、学研を選定する。

主題から価値の押し付けがなく、生徒に考えさせるつくりになっている点で学研がよいと考える。題材についても、いじめ問題だけでなく、SNSなどの現代的な問題を広く扱っているため、生徒の興味関心を引くものとなっている。

〈浦安市報告〉

委員：国語については、教育出版を選定する。

関連図書が豊富に紹介されており、充実した読書活動につながることを期待できる。現行の教科書会社であり、教員にとっても扱いやすい題材が多いことから教育出版を選定した。

外国語については、三省堂を選定する。

生徒が自分の世界を広げ、物事を深く考えることにつながる多様な題材が扱われていること、発音チェック機能をはじめとしたデジタルコンテンツの有効性、これまで使ってきたことによる教員側と子どもたちの使いやすさを考慮して三省堂を選定した。

道徳については、日本文教出版を選定する。

教材文の長さが適度であり、教師が授業設計を立てやすいつくりになっ

ている。また、道徳ノートについても自由に書き込める書式になっており、有効に活用できるものと言える。いじめ問題についてユニット化し集中して学習できる点もよいのではないかと考え日本文教出版を選定した。

⑥協議会として、道徳においては、二市二様の報告だったため、改めて二市の代表者による協議を行う。

代表者協議では、二市の選定理由を再度確認した。

道徳について

- 1 教材文の冒頭に内容項目や主題がについての記載があると、生徒の思考が固定化し予定調和的な学びにとどまってしまわないか。
- 2 いじめ問題だけでなく、多様な現代的諸課題に目を向ける必要があるのではないか。

教材文の冒頭に内容項目が表示してあると、生徒の思考を限定されてしまい予定調和的な考え方、答え方につながってしまうことも考えられる。また、いじめ問題に限らず、SNSをはじめとした現代的な諸課題についての教材を幅広く扱っている点を考慮して、学研と日本文教出版についてそれぞれの市の協議に持ち帰ることとした。

⑦⑥について各市協議

〈市川市〉

道徳について

委員：主題に道徳的価値につながる内容が明記してあると、生徒の考えが引張られてしまう。学研はタイトルに内容項目を書いていないため、生徒の思考の広がりや深まりが期待できる。教材文についても、学研では現代的な社会問題も扱っているため、生徒の主体的な学びにつながりやすい。

全委員：学研を選定する。

〈浦安市〉

道徳について

委員：道徳の市川市の選定理由は、学研の教材文では、冒頭に道徳的価値が表示されていない点が挙げられた。生徒の思考を限定せず、多様な考えから生徒自ら課題を発見する力の育成に目を向けている点でよいとの意見であった。また、教材について、学研は生徒の関心が高い現代的諸課題を掲載している。以上の点を考慮し、学研ではどうか。

全委員：学研を選定する。

⑧⑦について各市報告

〈市川市報告〉

委員：道徳は、学研を選定する。

扱っている題材が現代の子供たちに関連のある内容が多く、SNSなど代的な諸問題を広く取り扱っているため生徒の主体的な学びが期待される。教材文冒頭に道徳的価値の表記がなく、生徒の思考を限定せずに自由に考えることができる。以上を考慮して学研を選定した。

〈浦安市報告〉

委員：道徳は、学研を選定する。

SDGs など現代的な諸課題について幅広く取り扱っており、生徒が広い視野を持ち多面的・多角的に考えを深めることができる構成になっている。教材文冒頭に内容項目を表示していない点も、生徒の思考の広がりを楽しめる。以上から、学研を選定する。

⑨協議会としての選定

二市の報告が一致したので、葛南西部採択地区協議会は、
技術・家庭の技術分野は、東京書籍、家庭分野は、東京書籍、
国語は、教育出版、外国語は、三省堂、道徳は、学研 を選定する。

(7) 令和7年度使用小学校教科書の選定について

・事務局長より説明

(8) その他

事務局より連絡

- ・第4回協議会日程について
- ・第2回協議会会議録、及び、第3回協議会会議録の報告について
- ・会議資料、報告書の扱いについて

(9) 閉会の言葉

事務局